

【教育カウンセラー養成講座高知会場 アンケート】

■日時：2015年8月7日（金）8日（土）9日（日）3日間

■会場：男女共同参画センター「ソーレ」、高知県教育センター分館「心の教育センター」

■主催：高知県教育カウンセラー協会 <http://www.jecakochi.org/>

■1日目

- ・「構成的グループエンカウンター」鹿嶋真弓先生（高知大学准教授）
- ・「教育カウンセリング概論」金山元春先生（高知大学准教授）

○午前：緊張が終始強く、しんどいGEが続いたが、最後のグループシェアリングで「なぜしんどいか」の理由がわかり、語れたことは大きいな収穫だった。午後：基礎的な内容でしたが、教育心理学と学校心理学のちがいなど、漠然としたものが整理できました。

○自分は何か一つでも得て帰れたら充分という気持ちで参加しに来たのですが、何か場違いな雰囲気にとっても緊張していました。でも、午前中のエンカウンターで同じような気持ちの方と出会い、お話するうちに少しほっとして、明日からの研修も頑張る気が出てきました。午後は、少しむずかしいお話でしたが、とても分かりやすく説明してくださり助かりました。国分先生のことを語られる時の金山先生はとてもかっこ良かったです。

■2日目

- ・「自己肯定感を高める学級経営」会沢信彦先生（文教大学教授）
- ・「問題行動の理解と対応～アドラー心理学の視点から」会沢信彦先生（文教大学教授）

○今回2日目のみ参加させていただきましたが、貴重な内容を学習できました。理論とし実践をリンクさせて、子どもたちのためによりよい教育をしていきたいと思えます。こういう学習会がありましたら、また参加させていただきたいと思えます。（運営も和みがあり気持ちよく勉強できました。）

○会沢先生のお話を通してアドラー心理学、そして教育的視点を深く学ぶことができました。本当に充実した研修でした。また会沢先生のご講義をお聴きしたいと思いました。

○アドラー心理学を初めて栗原先生の講義を聞いてからしばらく遠ざかっていたので、是非もう一度話を聞き、現場で役立てたいと考え参加しました。今までの心理学の内容を少し思い出しました。クラス経営に悩んでいた頃だったので、少し考え方を変えて2学期に向かっていきたいと思いました。「うまくできるように…」でなく、少しでも生徒の本質に近づいて導いていけるようにしていきたいと思っています。

【教育カウンセラー養成講座高知会場 アンケート】

■日時：2015年8月7日（金）8日（土）9日（日）3日間

■会場：男女共同参画センター「ソーレ」、高知県教育センター分館「心の教育センター」

■主催：高知県教育カウンセラー協会 <http://www.jecakochi.org/>

■3日目

- ・「通常学級における特別支援教育の在り方」石黒康夫先生（逗子市教育委員会教育部長）
- ・「困難を乗り越える学校づくり～教師がチームで困難を乗り越えていく方法」石黒康夫先生（逗子市教育委員会教育部長）

○今回のような素敵な研修を本当にありがとうございました。実際に受けるまではカウンセラーについてあまり知識がなく、不安もありました。今日の研修を受けてグループエンカウンターでの活動や隣の方とのペア活動で、心も気持ちもほぐされました。実際に学校現場でエンカウンター使った活動を取り入れていきたいと思っています。“教師の4ちから”については、改めて自分を振り返ることができました。特に縦系と横系についてのお話は、とても印象的でした。アドラー心理学は、初めは少し難しい印象がありましたが、グループでの話し合いを何度もとって頂いたので、チームの人からアドバイスをたくさん頂きました。スクールワイドPBSについては、今までの考え方が逆の視点から見ることができ、新しい発見がたくさんありました。子どもの良い所、できている所を伸ばし、グレーゾーンの子を減らしていく。そのためには自分たちの関わりや学校全体の取り組みの重要性を学びました。この研修に参加できて本当に幸せでした。心から感謝します。

○初めて養成講座に参加しました。まず驚かされたことは参加された方の意欲の大きさです。情熱的で私自身が元気づけられました。三日間の講座、どれをとっても明日の実践に役立つものばかりでした。特に石黒先生の内容は、学校まるごとを実践の対象にするということで、中堅や管理職の立場にあってはとても勉強になるものでした。教育の目的を達成するためには、様々なアプローチがあり、まだまだ自分の不勉強な分野がたくさんあることを知りました。11月の鹿嶋先生の宿泊コースの講座を受けたかったのですが、学校行事がちょうどあり無念です。次回の講座に参加したいです。

■3日間を通して

○カウンセリングについてつい最近興味を持つようになりました。それは、現在の学校体制の中で生徒たちを見ていて何か自分にできることはないか？ 指導することも大切だが自校ではそれ以上に生徒への支援や関係づくりが今一番求められ、必要とされているのではないかと感じ始めたから、今回の養成講座に迷わず申し込みました。想像していた以上のものを頂けたと思いますし、人間関係づくり、コミュニケーション・リレーション等、教師にとっても大事にすべきことを学ぶことができました。特に初日のグループエンカウンターはアメイジングでした。なぜ、体験活動やグループ活動が大切なのかを学ぶこともできました。また、他の先生方の講話も過去の失敗談を取り入れてくださり、人とのふれあいや感じ方も触れることができ、ホッとすることが多かった研修会でした。何よりもこの年で学ぶことの楽しさを実感できたことが、私には大きな収穫でした。

○三日間の研修、大変お世話になりました。志した教職に就きながらも、結婚して辞すこととなり家庭で過ごしながらも、いつも「教育」と「人の心」というものへの関心に薄れることなく持ち続けておりました。転勤を何度か経て現居住地で小学校の教師としてまた教育に携われることとなり忙しく過ごしながらも、現実に理論としてわかっているにもかかわらず自身のスキルが足りなかったり、心のクセ（今回の講座でこの言葉を聞いてストーンと落ちました）強く出たりして目の前の子どもより自分自身の問題が大きいなあと悩んでいたのが一つ一つの研修が大変意義深いものになりました。「治す」より「育てる」ことの大切さ、学校教育という場において「個」から「集団」へという教育カウンセラーの果たす役割について学ぶことができました。そして「学ぶ」ことで自分が変わることを、自分が知れることを実感として感じられた三日間でした。